

2021 年度事業報告書

2022 年 5 月



一般財団法人 大学教育質保証・評価センター

目次

I	事業概要	3
II	事業内容	4
1	大学機関別認証評価	4
1-1	認証評価の目的等	4
1-2	認証評価の実施	4
1-3	評価を実施する各組織の役割	4
2	大学の質保証に関する調査・研究及び情報提供等	4
2-1	調査・研究	4
2-2	情報提供等	4
3	広報・渉外活動	5
3-1	広報	5
3-2	渉外活動	5
4	評価システムの改善及び自己点検・評価、その他	5
4-1	評価システムの改善	5
4-2	自己点検・評価	5
4-3	その他法令等に定められる事項	5
III	組織図・関係者名簿（2022年3月31日現在）	6

I 事業概要

2021年度の事業に関しては、2020年度第4回理事会(3月17日)において事業計画及び予算の案を決定し、2020年度第2回評議員会(3月25日)においてその内容が承認された。この事業計画に従って、会員となった大学とともに、引き続き公立大学協会の支援を受けつつ、本センターの組織基盤の充実を進めた。

大学機関別認証評価については、大学が行う教育研究の質を保証するための評価を行い、その評価を通じて大学の教育研究の質の向上に資することを目的として、本センターにとって2年目となる認証評価を5大学に対して実施し、3月25日に評価結果を本センターウェブページ上で公表した。

認証評価に付随する諸事業としては、会員を対象とする「質保証研究会」を全3回開催したほか、ニュースレター、ウェブページを通じた情報発信、外部団体との連携・協力などの取組みを行った。

Ⅱ 事業内容

1 大学機関別認証評価

1-1 認証評価の目的等

本センターが定める「大学機関別認証評価 実施大綱」に定める「評価の目的」、「評価の基本的な方針」及び「大学機関別認証評価 大学評価基準」に従って認証評価を実施した。

1-2 認証評価の実施

2021 年度は、5 大学の認証評価を実施した。

各大学から提出された「点検評価ポートフォリオ」に基づき、書面評価及び実地調査を実施し、その結果を踏まえて、本センターの定める大学評価基準を満たしているか否かの判断を行った上で、優れた点、改善を要する点、今後の進展が望まれる点を指摘した。

評価結果としては、評価を受審した 5 大学すべて、大学評価基準を満たしているとの判断となった。評価結果を示す評価報告書は、受審大学に通知し、ウェブページで公表すると同時に、文部科学大臣に対し報告を行った。

1-3 評価を実施する各組織の役割

1-3-1 認証評価委員会

評価は、認証評価委員会のもとに個別の大学の評価を行う評価実施チームを置く体制で実施した。評価結果については、評価実施チームが作成した原案に基づいて、第 2 回認証評価委員会(1 月 17 日)において審議を行い、評価報告書(案)を決定した。その後、受審大学に対し意見申立ての有無について照会を行った上で、第 3 回認証評価委員会(3 月 7 日)において評価報告書を決定した。

1-3-2 意見申立審査会

受審大学に対しては、評価報告書(案)に対する意見申立ての有無を照会したが、いずれの大学からも意見申立てはなく、意見申立審査会は設置しなかった。

2 大学の質保証に関する調査・研究及び情報提供等

2-1 調査・研究

文部科学省の会議の傍聴、認証評価機関連絡協議会への参加などを通じ、大学の質保証に関する情報収集を行った。

2-2 情報提供等

会員大学の教職員等を対象とする「質保証研究会」を全 3 回開催し情報提供を行ったほか、ニューズレター、ウェブページの更新等を行った。ウェブページについては、会員大学専用ページを試行

的に設置した。

また、会員等からの要請に応じ、9 大学に対し、学内研修への講師派遣を行った。

3 広報・渉外活動

3-1 広報

ウェブページを随時更新した。

刊行物として、ニューズレター通巻 2 号を作成した。

3-2 渉外活動

認証評価機関連絡協議会に、奥野代表理事が委員として参加した。協議会の下で行われる研修の企画チームには、1 名の職員が委員として参加した。

大学ポートレート運営会議に、奥野代表理事が委員として参加した。

4 評価システムの改善及び自己点検・評価、その他

4-1 評価システムの改善

過年度の認証評価の経験を踏まえ、2022 年度以降の評価方法等について、評価システム委員会において改善に向けた検討を行った。

改善に向けた情報を収集するための取組みとしては、各種会議における意見聴取のほか、評価委員が評価作業に使用する資料に、評価方法に関する意見等を記載する欄を設ける等の取組みを行った。また、評価委員及び受審大学に対して、アンケート調査により本センターの評価に対する意見等を求めた。

4-2 自己点検・評価

本センターの活動全般について、「自己点検・評価報告書」を作成し、9 月 30 日に公表した。12 月 21 日には、この「自己点検・評価報告書」に基づき、中央教育審議会「認証評価機関の認証に関する審査委員会」によるヒアリングが行われた上で、同審査委員会からのコメント(2 月 25 日)が本センターに対し示された。このコメントについては、第 5 回理事会(3 月 17 日)において共有し、今後適切な対応を行うことを確認した。

各種委員会や評価実施チーム、受審大学等から寄せられた意見やアンケートの結果等から収集した情報は、フィードバック・ノートとして一元的に蓄積しており、分析した結果をもとに、今後認証評価をはじめとする本センターの活動の改善に活用する予定である。

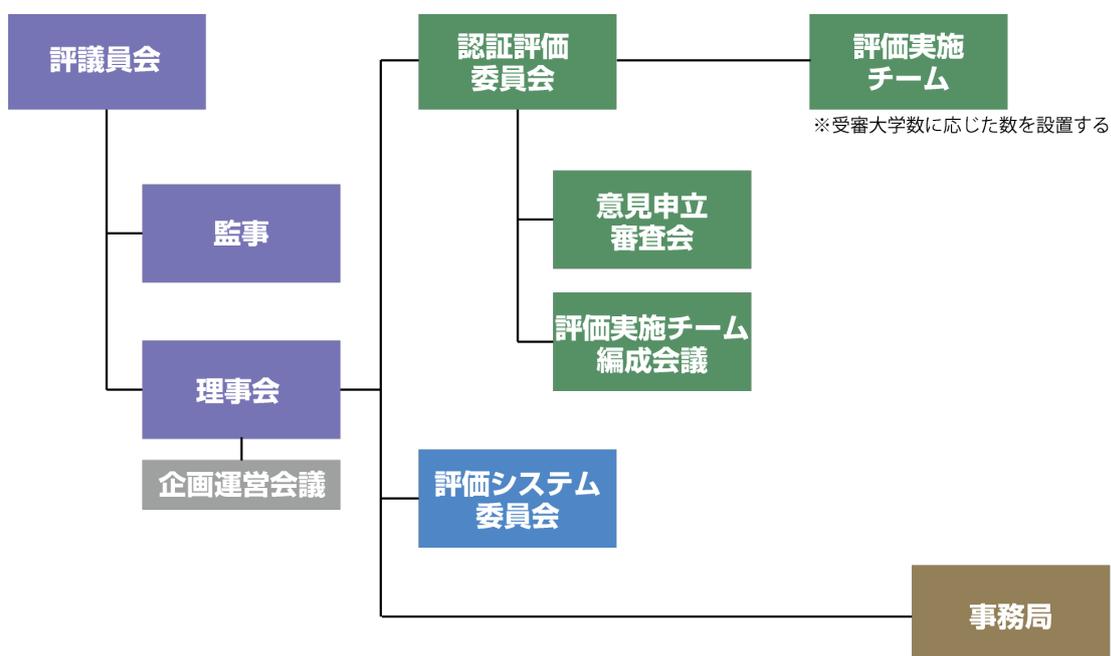
4-3 その他法令等に定められる事項

法令に定められる事項及び認証評価機関として必要な事項として、文部科学省への必要な報告、その他手続き等の対応を行った。

また、本センターの自己点検・評価に関する規定について、実情に合わせて見直しを行った。

Ⅲ 組織図・関係者名簿 (2022年3月31日現在)

(1) 組織図



(2)関係者名簿(備考欄の役職は2021年5月26日現在)

評議員

任期：2023年度の定時評議員会まで

役職	氏名	備考
評議員	荒川 哲男	大阪市立大学長
〃	植草 茂樹	公認会計士
〃	鬼頭 宏	静岡県立大学長
〃	郡 健二郎	名古屋市立大学長
〃	齋藤 明	元独立行政法人大学入試センター監事 ／元早稲田大学研究推進部事務部長
〃	柴田 洋三郎	福岡県立大学長
〃	松本 佳久	元出光興産株式会社代表取締役副社長 ／元経済同友会教育改革委員会副委員長

役員

①理事

任期：2023年度の定時評議員会まで

役職	氏名	備考
代表理事	奥野 武俊	大阪府立大学名誉教授
理事	上杉 道世	筑波大学大学研究センター客員研究員
〃	近藤 倫明	北九州市立大学特任教授
〃	佐々木 民夫	岩手県立大学名誉教授
〃	船木 成記	一般社団法人つながりのデザイン代表理事
〃	山本 健慈	一般社団法人国立大学協会参与
〃	山本 眞一	筑波大学・広島大学・桜美林大学名誉教授
〃	吉武 博通	東京都公立大学法人理事

②監事

任期：2023年度の定時評議員会まで

役職	氏名	備考
監事	稲垣 卓	福山市政策顧問
〃	中島 恭一	富山国際大学顧問

企画運営会議

役職	氏名	備考
代表理事	奥野 武俊	大阪府立大学名誉教授
認証評価委員長	近藤 倫明	北九州市立大学特任教授
評価システム委員会委員長	佐々木 民夫	岩手県立大学名誉教授
事務局長	中田 晃	

認証評価委員会

任期：2023年3月31日まで

役職	氏名	備考
委員長	近藤 倫明	北九州市立大学特任教授
副委員長	浅田 尚紀	奈良県立大学長
〃	柴田 洋三郎	福岡県立大学長
〃	吉武 博通	東京都公立大学法人理事
委員	喜久里 要	早稲田大学リサーチイノベーションセンター調査役
〃	栗井 浩史	公認会計士
〃	佐々木 民夫	岩手県立大学名誉教授
〃	清水 潔	弁護士
〃	船木 成記	一般社団法人つながりのデザイン代表理事
〃	松本 佳久	元出光興産株式会社代表取締役副社長 ／元経済同友会教育改革委員会副委員長
〃	山本 健慈	一般社団法人国立大学協会参与

評価システム委員会

任期:2023年3月31日まで

役職	氏名	備考
委員長	佐々木 民夫	岩手県立大学名誉教授
副委員長	岩野 雅子	山口県立大学国際文化学研究科長
委員	浅田 尚紀	奈良県立大学長
〃	太田 博道	前長崎県立大学長
〃	近藤 倫明	北九州市立大学特任教授
〃	柴田 洋三郎	福岡県立大学長
〃	清水 一彦	山梨県立大学長
〃	高橋 哲也	大阪府立大学副学長
〃	富田 美加	茨城県立医療大学教授
〃	森 正夫	名古屋大学名誉教授
〃	中田 晃	事務局長